



ともに生き ともに創る 彩りのまち調布



ちようふ

令和5年(2023年) No.1751 11/20

CONTENTS(主な内容)

- 令和4年度の決算状況……………4
- 市政功労者表彰・秋の叙勲……………5
- 味の素スタジアムでの試合にご招待……………15
- PR部の大学生が発信! まちの素敵な魅力……………16

発行: 調布市 (毎月5日・20日発行) 所在地: 〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1 市役所代表: ☎042-481-7111
 編集: 行政経営部広報課 市ホームページ: <https://www.city.chofu.tokyo.jp/>

市報ちようふの配布に関する問い合わせ
 市報ちようふ配布コールセンター(配布受託業者(株)小平広告)
 ☎042-300-3131

問 中央図書館利用支援係 ☎441-6191

だれもが 本をたのしむために



市報が
点字本になって
必要な方に
届けられています

図書館は、いつでも、どこでも、だれでも気軽に利用できる市民の書斎であり続けるために、図書館を利用する上で困難な状況にある方への支援を行っています。
 今回は、市報ちようふの点訳版ができるまでと、各種サービスを紹介します。

12月はパラハート月間(障害者週間)

障害への関心と理解を深め、障害者があらゆる分野の活動に参加することを促進するため、毎年12月3日～9日は障害者週間と定められています。
 さらに、市では12月をパラハート月間として、障害への理解を深める取り組みを行います。

パラハートちようふ

つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

詳細は2・3面をご覧ください →

調布市表
 友友貴樹

秋の夜長の物思い
 手をつなぐ樹 432

時折ふと脳裏に浮かぶ、中学
 生頃の苦笑する思い出がある。
 私の場合、おおよそ普段、家で
 まじめに勉強した記憶などほと
 んどないのだが、なんのはずみ
 か不意に猛然と勉強意欲が湧い
 てくることがあった。「今、こ
 の瞬間にも、日本国中、津々浦々
 で必死に努力している、とてつ
 もない数の同年の人間(註)が
 いるのだな。そいつらとの壮大
 な勝負か。よし、一丁やつたる
 か」などと思った刹那、武者震
 いを覚え、拳を強く握りしめる。
 そして、全身にやる気を見な
 ぎらせ、学力増進を達成するた
 めの精緻かつ遠大な計画を懸命
 に立案しノートに清書する。所
 要時間は小一時間ほど。作業後
 は、極めて優れた計画の完成に
 大いに満足して一人悦に入りな
 がら、こう高らかに宣言する。
 「やるぞ、あしたから」。

「やるぞ、あしたから」。決して
 「やるぞ、今日から」ではなく、
 その結果、労作の大計画が翌日
 以降実行に移されることはい
 ぞなかつた。お粗末この上ない
 追憶で恥ずかしい限りだ。

ただし社会に出るからは、仕
 事に対してそのような怠惰な姿
 勢で臨んだことはいない。なにゆ
 えか。もちろん報酬を得ること
 に対する責任が理由の一つでは
 あるが、それ以上に、不必要な
 業務の停滞により周囲に迷惑を
 かけることを避けたいと思っ
 ただけだ。学業怠慢で困るのは自
 分だけだ。

ところで、そう言えば噴飯も
 のの自己満足に何度か興じたの
 は、なぜかいつも秋が深まる頃
 だったような気がする。秋の夜長
 の物思いは、ときにゴールのな
 い迷走を凡人にもたらすようだ。

(註) 私と同じ1952(昭和27)年生まれの人口は、約200万人。

